

概要をお知らせします

平成17年度 予算

地方を取り巻く財政環境は、国の三位一体改革の影響により一般財源収入が減少するなど、年々厳しさが増しております。本市の新年度予算においても、地方交付税などの大幅な減少が見込まれております。

このような現状を踏まえ、徹底した行政改革を推進するとともに、自主財源の積極的な確保に努め、簡素で効率的な行政運営の推進を図ってまいります。また、地方分権の先導役を担う中核市として、移譲された事務権限を最大限に活用し、本市の特性を十分に生かした独自のまちづくりを推進する



川越市長 舟橋功一

など、「市民の皆さんが住んでよかったと思える、魅力あるまち川越」の実現に向け、全力で市政運営に取り組んでまいります。さらなる市政の発展のため、市民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

*「平成17年度予算の概要」では、完成前の施設に付く（仮称）を省略しています。

*「平成17年度の川越市予算説明書」は財政課（本庁舎四階）・図書館・公民館でご覧になれます。

問い合わせ：財政課財政担当・TEL内線2311

一般会計の概要

平成十七年度予算では、市税等の自主財源の確保と事務事業の優先度について厳しい選択を行いました。現在の財政環境を、既存の事務事業の見直しの機会としてとらえ、限られた財源を重要性と緊急性の高い事業に重点的かつ効率的に配分しました。

一般会計の当初予算額は、八百七十三億二千万円となりました。昨年度当初予算対比で九十七億八千万円の減となり、10・1パーセント減少しました。なお、昨年度当初予算の特殊要因であった、減税補てん償借換債七十五億九千八百九十万円を除くと、2・4パーセントの減となっています。

●歳入

市税：四百七十五億六千五百二十八万六千円

法人市民税・固定資産税の増加が見込まれるため、昨年度当初予算対比で六億六千七百四十四万三千円の増となりました。

地方交付税：二十億円

地方財政計画の伸び率などを参考にした結果、昨年度当初予算対比で十四億六千二百万円の減となりました。

国庫支出金：八十三億三千四百三十五万円

生活保護費負担金の増加などのため、昨年度当初予算対比で一億五千八百九十六万円の増となりました。

市債：六十八億三千五百二十万円
減税補てん償借換債・臨時財政対策債の減少などのため、昨年度当初予算対比で百一億五千二百八十万円の減となりました。

●歳出

霞ヶ関駅周辺整備・月越小学校改築・少子高齢社会に向けた総合的な福祉施策・環境に配慮した施策の推進など、第二次川越市総合計画後期基本計画に掲げる諸施策に計画的に取り組みます。また、新たな社会経済情勢の変化や多様な市民要望に的確に定める施策の実現に努めます。

一般会計の主な事業

総務費

第三次川越市総合計画の策定

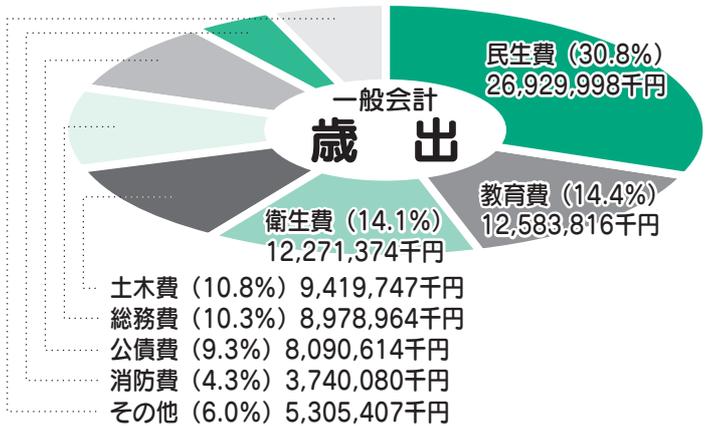
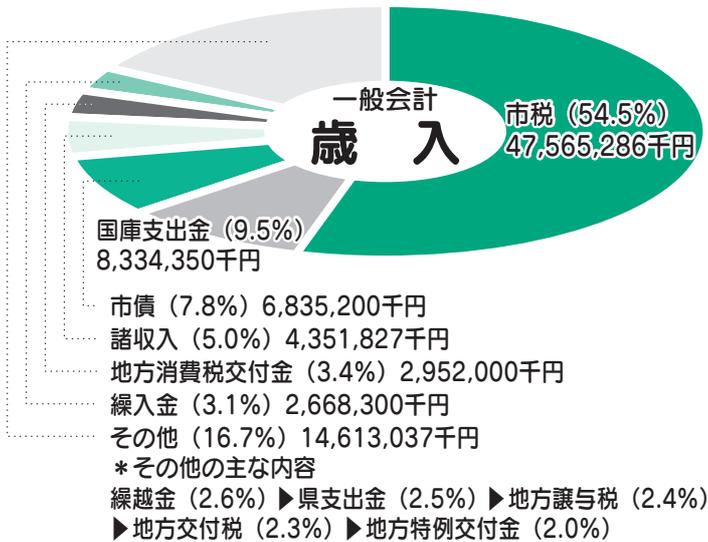
将来の川越を見据え、活力に満ちた魅力あふれるまちづくりが展開できるような計画を策定します。

地域振興ふれあい拠点施設の整備

業務核都市にふさわしい都市機能を集積し、にぎわいのある地域社会形成のため、共同事業者である県と、十分に協議を行いながら基本構想を策定し

平成17年度予算の歳入・歳出規模

| | |
|-------|----------------------------|
| ■一般会計 | 87,320,000千円 (前年度比10.1%減) |
| ■特別会計 | 82,062,659千円 (前年度比 5.7%増) |
| 総計 | 169,382,659千円 (前年度比 3.1%減) |



一般会計歳出予算の性質別構成比

| 性質名 | 当初予算額 (千円) | 構成比 (%) | 性質の説明 |
|-------|------------|---------|------------------------------------|
| 人件費 | 21,429,684 | 24.5 | 職員の給料等にかかる経費 |
| 扶助費 | 14,151,079 | 16.2 | 生活困窮者・障害者・高齢者・乳幼児等に対する給付や施設への入所措置等 |
| 物件費 | 14,052,582 | 16.1 | 物品の購入・光熱水費・管理委託等 |
| 投資的経費 | 10,133,016 | 11.6 | 建設事業等にかかる経費 |
| 繰出金 | 9,169,954 | 10.5 | 特別会計等に対する経費 |
| 公債費 | 8,090,511 | 9.3 | 借入金の返済金 |
| 補助費等 | 6,276,641 | 7.2 | 各種事業に対する補助等 |
| その他 | 4,016,533 | 4.6 | 貸付金・維持補修費・出資金・積立金・予備費 |
| 合計 | 87,320,000 | 100.0 | |

都市計画税の用途

都市計画税は、都市計画事業などに要する費用に使うための目的税です。この税金の使いみちとして、下記の事業を予定しています。

| 事業名 | 事業費(千円) | うち一般財源(千円) | 充当都市計画税(千円) | 構成比(%) |
|----------|-----------|------------|-------------|--------|
| 土地区画整理 | 2,243,113 | 937,513 | 845,795 | 32.4 |
| 公園 | 653,020 | 653,020 | 589,968 | 22.6 |
| 街路 | 763,319 | 509,469 | 459,444 | 17.6 |
| 新清掃センター等 | 717,968 | 717,968 | 647,398 | 24.8 |
| 都市下水道 | 73,187 | 73,187 | 67,872 | 2.6 |
| 合計 | 4,450,607 | 2,891,157 | 2,610,477 | 100.0 |

*事業費には、地方債償還金を含みます。

て、事業化を推進します。

情報化の推進

電子申請システムの運用開始など、システムの整備を進め、電子市役所の実現を図ります。

東部および大東地区地域ふれあいセンターの整備

それぞれ、地域の皆さんとの合意形成を図りながら整備します。

防犯活動の推進

犯罪のない安全で安心なまちづくりを実現するため、行政・警察・市民・事業所・関係団体などが連携を図り、犯行の機会を与えない、犯罪を起こさせない地域環境づくりを推進します。

交通関係

市内の交通渋滞の緩和を図るため、公共交通機関の利用促進など、市街地の交通円滑化方策について検討を進めます。市内循環バス「川越シャトル」については、改善策の検討を進めていきます。また、駅周辺の放置自転車対策の推進や、交通事故防止活動などの交通安全施策の推進を図り、交通安全対策を進めます。さらに、南古谷駅にエレベーターの設置を進めます。

民生費

高齢者福祉

「川越市高齢者保健福祉計画・第二

期川越市介護保険事業計画」を推進するとともに、今後の高齢化の進展を見据えて、第三期計画を策定します。また、高齢者の健康の保持を奨励して福祉の増進を図るため、健康長寿奨励金支給事業を継続して実施し、高齢者のふれあいの場を提供する、老人憩いの家の整備を促進します。

障害者福祉

「川越市障害者計画」の推進を図るとともに、障害者が社会のあらゆる分野へ参加できる「完全参加と平等」の社会の実現を目指して、次期計画を策定します。また、障害者が地域や家庭で安心して暮らせるよう、居宅介護サ

ービスやグループホームなどの施策の充実を図ります。

児童福祉

「川越市次世代育成支援対策行動計画」に基づき、各種保育サービスの充実に努めます。また、家庭で子育てをしている母親への支援策として、気軽集い、交流が図れる「つどいの広場」の設置など、少子化対策に積極的に取り組めます。

乳幼児医療費支給

就学前までの入院・通院を対象にしていたものを、入院については、中学校卒業まで拡大します。通院については、自己負担を無くします。